

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永宇岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/dousou/



ご挨拶

会長 粕谷邦男

同窓生の皆様には、ご健勝で益々のご活躍を心よりお慶び申し上げます。国内外で活躍されていますこと、非常に心強く、頼もしく誇りに思います。また、日頃より本会にご理解、ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、この度「同窓会名簿」の第八版が刷り上がりました。いろいろな課題を含みながらも、多くの方々のご支援、ご賛助をいただき無事発刊することができました。ありがとうございます。同窓会の運営上不可欠なものであり、登城ヶ丘を巣立った会員お一人おひとりの絆を尊重し、有効にかつ大切に使われますこと、切に願うところであります。

また、「近鉄内部・八王子線」は

廃線の危機を乗り越え、「四日市あすなろう鉄道」として存続・再出発することになりました。同窓生の皆様をはじめ、四日市南高校地元住民の方々の強い熱意が伝わったおかげであり、多くの皆様のご努力とご協力に深く感謝申し上げます。

そして、私、この度10年近く勤めあげた会長職を勇退させていただくことになりました。地元四日市を長く離れていた私を何かと助けて頂いたスタッフの方々に感謝申し上げます。いつまでも創立時の回顧話や南高愛だけでは先に進みません。四日市南高校を卒業したことに誇りを持って、これからの困難な時代を切り開いていっていただきたいと思えます。

最後になりましたが、同窓会の発展と四日市南高校の成長を祈りつつ、次世代の皆様はその「心」を託したいと思えます。そして今まで通り、温かいご支援、ご理解をお願いしたいと思います。本当にありがとうございます。

平成二十七年 夏



ご挨拶

学校長 鈴木達哉

はじめまして。本年4月より学校長として赴任いたしました鈴木達哉と申します。同窓会会員の皆様には、母校のため平素よりひとかたならぬご支援、ご協力を賜りありがとうございます。あらためまして厚くお礼申し上げます。

さて、創立57年目を迎える本校には綿々と息づく開校以来の教育方針があります。その中でも私が誇らしく感じるのが次の3点です。
①開拓者精神 (Frontier Spirit) を培い、品性を磨く
②人権を尊重し、差別のない明朗な気風を育てる
③個性を生かし、一芸一能を重んじ、才能を開発する

21世紀はグローバル社会、情報化社会、知識基盤社会と言われる、これまでに我々が経験したことのない事態に立ち向かっていかなければならない時代です。そのためにも必要となるのは自立する力、主体的に行動する力、多様な人と共生する力だと考えます。

す。

四日市南高校は現在でも県下有数の進学校です。しかし、地方の進学校はたんに大学に進学させるだけでなく、その地方の20年後、30年後をリードし、社会に貢献できる人間を育成するという責務があります。私は本校の教育方針を学校生活や授業、特別活動において具現化することで、将来の日本、とりわけ三重県や四日市を中心としたこの地域を支え、リードしていける人間、「世のため、人のため」に行動できる高い志と豊かな人間性を備えた、たくましい大人を育てていきたいと考えています。

そのためには、学校の教員だけが生徒を指導教育するというだけでは不十分です。もちろん、授業や日々の生活指導などは教員が責任を持たなければなりません。これからの時代は保護者や地域の方々との連携、企業・行政・NPOといった外部の方々の多様な価値観を持つ「本気の大人」たちとのつながり、交流が生徒たちの成長のためには不可欠です。とりわけ、同窓会会員の皆様は同じ登城ヶ丘を学び舎とし、「開拓者精神」という同じスピリットを備えた、頼りになる「本気の大人」です。ぜひとも、後輩たちのためにも、将来の地域や社会の発展のためにも、今後とも大きなご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【追記】

皆様方の絶大なご支援をもちまして、生徒の重要な通学手段である内部・八王子線が「四日市あすなろう鉄道」として存続されることになりました。ご支援に感謝申し上げますとともに、ぜひとも利用促進のために母校にお越しの節は日本で3本しかないナロウゲージのなつかしい電車をご利用をお願いいたします。



OBS Lecture OB講演会

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

平成27年7月6日

Yahoo株式会社
エンジニア、デザイナー
水谷真樹(48期)



「私達の生活を支えている情報」というタイトルで話してくださいました。水谷さんはヤフーで、エンジニアとして、プログラミングやネットワークの仕事に携わっておられます。

「初めて購入した携帯はガラホかスマホか」の質問に、半数以上の生徒がスマホから始まったと分かるにつけ、世はすでにスマホ時代であると改めて再認識しました。1秒間に2万件数以上のアクセスがあるヤフーですが、水谷さん自身、普段はグーグルをよく利用し、地図もグーグル地図を利用するようで、生徒の笑いを取っていました。実はグーグルのよさをヤフーに取り入れることで、更に良いものにするのが目的と知り、生徒たちは納得していました。17歳で会社を立ち上げた女性の話など、今後は若者が活躍する時

代であると、生徒たちにエールを送り、活発な質疑応答を経て講演を終えました。

株式会社マイファーム大学校
事務部
磯川麻里(44期)



「なりたいものは何ですか?」「なりたかったものは何ですか?」

開口一番、いつも意識して考えておくことの大切さを話されました。磯川さんは、中学の頃から「野生の中で生物と暮らしたい。」と願っていたそうです。それで、農学部↓青年海外協力隊(ウガンダ)↓高校教師(生物)↓マイ・ファームと、「農+食×教育」を軸に、現在までぶれることなく進んでこられました。ウガンダでの生活・イチゴ栽培の指導・人々の暮らし等、初めて聞くことばかりでした。その間に、平和展を開いたり、祭りをしたりと、農業だけでない幅広い行動力には、本当に驚きました。

株式会社Z会
松永瑞穂(32期)



「高校2年生からの大学入試」と題し、松永さんご自身が高校2年生の時の進路選りから、同級生とどのように協力し合って受験勉強に励んだかなど、現在の生徒自身に身近に感じられるお話をしてくださいました。そして、大学3年生の時の語学留学のお話や、教育実習のお話、そして就職活動のお話など、生徒が大学生活に興味を持つような話題に移りました。

最後には現在のZ会でのお仕事を通して、失敗する受験生・成功する受験生のモデルケースを提示していただきました。何となくやってみてしまいがちな失敗例を知っておくことで、生徒たちの受験に対する姿勢も変わるのではないかと期待します。また、質疑応答ではくだけた雰囲気の中で、部活動と勉強の両立

の会話や、仕事でご苦労されたお話など、さらに話題を広げお話しただきました。

三重県工業研究所
プロジェクト研究課主幹研究員
松岡敏生(26期)



「理系キャリアの活かし方、活かせられ方」と題し、理系の研究者としての道の歩み方について、講演されました。研究者としての仕事は決して楽ではなく、休みの日も論文を書くなど、多忙であるそうです。それでも、やりたい仕事をしているし面白味がある、と生き生きとお話しされていました。

行政職に就いたことよって、技術者としてのアドバンテージに気づいた経験を踏まえ、他者から頼られる存在であることの大切さを伝えていただきました。職に就いた後も、泳ぎ続けなければならぬ、つまり常に新しい技術を学び続けなければならないという言葉が印象的でした。泳ぐ方向をよく見ておくこと、どうやって泳ぐか、考え続けることがキャリアを活かすことに繋がるようです。生徒たちも、大学で学ぶことの

意味、そしてその後の道のりの長さを実感できたのではないでしょう。うか。

税理士法人決断サポート代表
税理士
上田泰弘(31期)



「模試の試験ですべてA判定でも自分は受験に失敗した。」という衝撃的なお話で始まりました。専門学校から税理士になるために苦労を重ね、就職したのち、顧客との出会いによって中国へ渡り、そこで顧客から中国の大草原を企業の工場に埋め尽くすという話を聞き、衝撃を受け、これからは中国に進出していかなければならぬと28歳という若さで起業する劇的なお話や、合格がゴールじゃなく人生のゴールに向かってステップを踏み、成長していくことが大切であるといったお話はとても興味深く熱い思いを感じました。

また、ご縁を大切にすることがいかに重要であるか、南高校卒業生との繋がりが、実体験を交えてアドバイスを頂き、社会人として今後社会に貢献する生徒たちにとって、大きな学びとなりました。

教育実習

今年も教育実習が行われました。第51期生の方々に感想をお聞きしました。

谷口貴章(保健体育) 51期

もう終わりなのか、そう感じられるくらい充実した実習をこの四日市南高校では送らせていただきました。たくさんの授業を経験し、部活動も見させてもらい、生徒と接する機会もたくさんありました。先生方からは厳しいご指摘もたくさんしていただきました。しかし、この一つ一つが私の思い出となっていますし、四日市南高校で実習をすることができたということに本当に嬉しく思います。

私は高校教員を目指しています。この経験は絶対にこれからの生活に活かしていきたいと思っています。一緒に勉強することができた四日市南高校の生徒や、お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

私は高校教員を目指しています。この経験は絶対にこれからの生活に活かしていきたいと思っています。一緒に勉強することができた四日市南高校の生徒や、お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

前田 渚(英語) 51期

数年前まで学び舎として通っていた南高校に今度は実習生として戻ってこられたことは大変嬉しく、また有意義な時間を過ごすことができました。実習中は大学では学ぶことができない、教育現場ならではの学びが多くありました。教科指導だけではなく生徒指導においても考えさせられる点があり、自分の未熟さを知りました。

また私たち実習生に対しても熱心にご指導してくださる先生方と温かく見守ってくれる優しい生徒

奥畑美紀(美術) 51期

実習が始まる前は2週間という短い時間である上に科目が美術という事で多くの生徒と交流する機会が持てるか不安でした。しかしいざ始まると部活動も含めて多くの生徒達と交流する事ができました。

また私たち実習生に対しても熱心にご指導してくださる先生方と温かく見守ってくれる優しい生徒

たちに囲まれて本当に恵まれた環境で実習ができたことを嬉しく感じます。ここで学ばせていただいたことを生かしていつか教壇に立てるよう頑張りたいと思います。

藤澤 翔(音楽) 51期

高等学校芸術科音楽の実習生として母校である四日市南高等学校でお世話になりました。初めてのことでばかりでも大変でしたが、その分学んだこともたくさんあり、とても刺激的な実習をさせていただきました。授業だけでなく、教員としての仕事を間近で観ることができ、とても良い経験ができました。

授業では生徒と直接関わり、授業展開することや生徒の関心を引き出すことの難しさを感じました。でも、指導教員の先生方や生徒に助けられ、充実した授業づくりができました。3週間の実習はあっという間に過ぎてしまいました。この経験を糧にして精進していきます。ありがとうございました。

「母校である四日市南高校に教育実習に行く。」というのが私の高校時代からの目標でした。今回こうして目標を達成することができたこと、とてもうれしく思っています。また、受け入れてくださ

森田真央(公民) 51期

「母校である四日市南高校に教育実習に行く。」というのが私の高校時代からの目標でした。今回こうして目標を達成することができたこと、とてもうれしく思っています。また、受け入れてくださ

また私たち実習生に対しても熱心にご指導してくださる先生方と温かく見守ってくれる優しい生徒



教育実習生(51期)
森田真央(公民)、谷口貴章(保健)、林 麻美(音楽)、藤澤 翔(音楽)、小澤佑斗(美術)、奥畑美紀(美術)、前田 渚(英語)、矢田美月(英語)、藤井千裕(情報)

った校長先生、さらにご指導をしてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。今回の教育実習で、実際に教壇に立たせていただき、多くのことを学ぶことができました。さらに、在校生時とは違った立場での学校で、また違った楽しさや新しい発見を得ることができました。中でも体育祭では、真剣な姿やいつもは見られない生き生きとした顔など生徒のみんなの意外な一面も見ることができ、私自身も力をもらいました。それだけでなく、いろんな面で励ましの言葉や元気をくれた生徒のみんなには本当に感謝しています。この経験を活かし、先生になるという夢に向けて頑張っていきたいと思えます。やっぱり私は南高が大好きです。ありがとうございました。

これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

箏曲部

3年生3名、2年生13名、1年生13名の計29名で、生田流正派大教師の森雅笙先生の熱心なご指導の下、週3回の練習日だけでなく積極的に自主練にも取り組んでいます。

昨年8月には、茨城県で行われた第38回全国高等学校総合文化祭に参加して優良賞を受賞し、上位4校が出演できる「優秀校東京公演」でも演奏させていただきました。国立劇場での演奏披露は、生徒達にとっても得難い、素晴らしい経験となりました。

今年、8月8日(土)に白山町総合文化センター(しらさぎホール)にて県大会が行われます。四連覇を目標に精一杯演奏をしまいにあります。来年もよい結果をご報告できるよう頑張つてまいりますので、応援のほどよろしくお願ひいたします。

陸上競技部

今年も多くの新入生が入部し、現在は男女合わせて約35名の部員で活動しています。5月末に開催された県高校総体では生徒たちがよく頑張りました。男子200mが5位、男子400mが4位、男子1600mリレーが6位に入賞し、それぞれ東海大会出場を果たしました。他の部員も最後まであきらめずに粘り強く競技し、好記録を出してくれました。

昨年夏の日

本音楽演奏会でも優勝し、今年7月30日から行われる第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会にも出場する予定です。お近くにお住まいの方は是非とも応援に来

4月にはりんごごとさつまいもの天板ケーキ、5月には苺と白玉入り水ようかんを作りました。南高祭では、昨年は冷やし中華を販売しました。今年内容は検討中です。月1回の活動日に集まり、楽しく活動しています。

イラスト部

イラスト部は、現在、11名の部員で活動しています。活動内容としては、年間2回、9月と1月に部誌(イラスト原画集)を発行しています。また、2月には、3年生の卒業記念に手作りのイラスト集を作っています。

さらに、3月には新入生歓迎会用のカラーイラスト集を作る予定です。

インターアクト部

「人のため、世のためになる社会貢献活動」をスローガンに、内外のボランティア活動に参加しています。昨年度は、被災地(福島県)を訪問したり、南部丘陵公園植樹祭や日永つんつく祭りに参加しました。

また、非常災害時用「白い小箱」を自立支援施設と協働で作成しました。このような活動を通して、人間性や社会性を磨き、自己実現と共に社会のお役にたてればと日々取り組んでいます。

バドミントン部

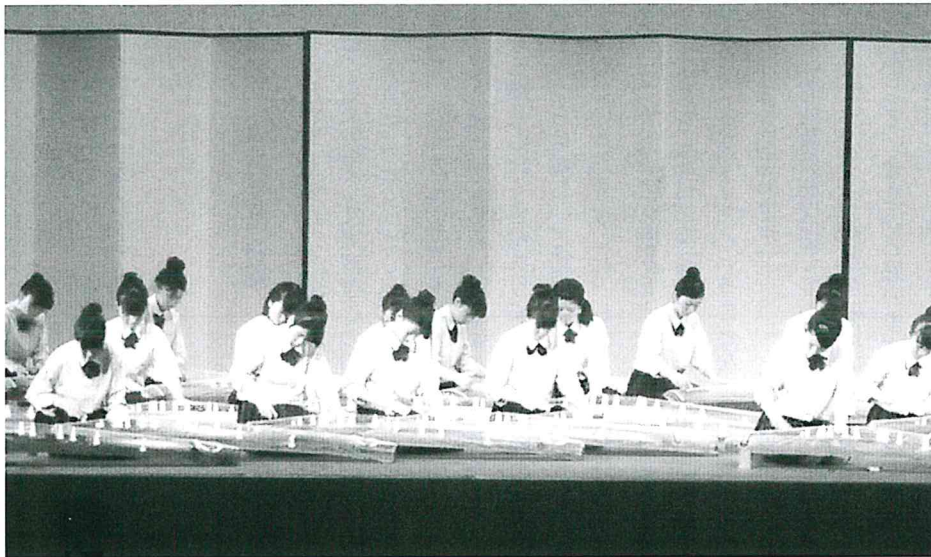
初心者でも楽しむことのできるバドミントンですが、とても奥が深く、知れば知るほど魅力的なスポーツです。練習は、風の影響を受けぬように体育館を閉め切り、皆で励まし競い合い技術向上に努めています。日々の努力を糧に大会で結果を出せるように頑張つておりますので、ご支援よろしくお願ひいたします。

ワンダーフォーゲル部

3年男子8名、2年男子6名、1年女子1名の計15名が在籍しています。昨年度は夏合宿で北アルプス穂高岳に、冬のスキーは明宝に行きました。本年度の県総体は、6位でした。今後も、「楽しく安全に」を心がけ、活動していきたいと思っています。

演劇部

昨年の演劇部は、「酢酸ラブミオン」(既成)で久々の県大会出場を果たしました。今年は14名もの新入部員(男子8名・女子6名)を迎え、2年生8名(男子4名・女子4名)と元気いっぱい活動しております。3年生もよく部室を訪れ、いろいろと相談ののつてくれています。学校ホームページでも活動を報告しておりますので、



25周年記念全国高等学校総合文化祭 優秀校東京公演出演 国立劇場にて

応援をよろしくお願いします。

音楽部

現在部員は1年生3名、2年生1名、3年3名、合計7名です。昨年度末には南高校&神戸高校、ジョイントコンサートを初めて開催することができました。

今年度は若い目のコーラスワークシヨップに参加、合唱祭、三重音楽祭での第九の出演、アンサンブルコンテスト、年度末に第2回南高校&神戸高校、ジョイントコンサートと前向きに活動を続ける予定です。

柔道部

柔道部は、ここ数年部員数の不足が深刻で日常の練習にも支障をきたす状況が続いていますが、それでも個人で県大会上位入賞者を輩出するなど地道に活動を行っています。

今年度は現在2年生1名で活動しており、近隣の高校などへの出稽古などを行いながら競技力向上を目指しています。新顧問を迎え経験の有無を問わず、ともに活動する部員を求めています。

書道部

昨年の文化祭では、茶道部の茶席において作品を展示させていただきました。部員が少なくなつた

(4名)こともあり、これまでのように大きな会場を飾ることはできませんが、地道に活動を続けていきたいと思えます。

吹奏楽部

3月27日に開催させていただきました第27回定期演奏会には、約1500人のお客様においでいただきました。多くの先輩方のご協力により、無事終了することができました。ありがとうございました。

本年度、47名の新入部員を迎え、部員一同、コンクールやコンテストでベストを尽くし、豊かな音楽を奏でたいと思えます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

水泳部

本校のプールが使用できなくなつてから数年が経ちます。そんな中、部員は各自スイミングスクール等で県大会に向けて、練習をしています。

今年度は新たに2名の新入部員を加え、選手4名でスタートしました。今年度は4名全員が個人種目とリレーの両方で東海大会に出場できるように頑張っておりますので、ご支援よろしく申し上げます。

茶道部

今年度は1年11名、2年4名、3

年9名の計24名で活動しています。毎週水曜日の放課後、作法室で講師の羽木千松先生に表千家のお点前をご指導いただいております。

毎年南高祭では浴衣姿で立礼棚を用いた茶席を設け、おもてなしをしています。普段は作法室の畳席でお稽古していますが、正座の苦手な方でも気軽に一服していただけるよう椅子席にしております。部員たちの日頃の成果を是非見に来てください。

また高文祭では県総合文化センターで北勢地区が和室で呈茶することになってるので、それに向けてもお稽古に励んでいます。

電算無線部

電算無線部は現在、3年生1名、2年生3名、1年生7名の計11名で活動をしています。活動は今のところ週に1回ですが、パソコンに少しでも詳しくなつてもらうために、WordやExcel、PowerPointを使いながら、知識や技術を習得しています。

今の情報化社会の中で活躍できるように、情報技術の向上に励みながら、これから活動していきたいと思えます。

バスケットボール部

平日の放課後は体育館練習と陸上トレーニングを行っています。

文芸部

1年生が4人入部し、部誌の作成にますます力が入っております。三重県下の文芸部員たちと語り、創作学習会に参加するなどし、作品に磨きをかけて「高校文芸みえ」入選を目指しています。昨年度は小説と詩で入選を果たしました。今年度も文化祭では、部誌の展示、配布を予定しております。

硬式テニス部

今年度の高校総体・団体戦は、男女共に二回戦敗退という、残念な結果となりました。

新たに1年生が加わり、心機一転、男女とも次の試合に向けて新たに動き出しました。少ない練習時間ですが上位入賞を目標にさらに努力を続けていきたいと思えます。ご支援よろしくお願いいたします。

美術部

私たち美術部は、全学年あわせて19名で毎日活動しています。今年も例年通り、絵かきの町・大王町にて、3日間集中して作品制作をします。

南高祭では四日市文化会館にて、日頃制作している作品や合宿での作品を展示します。また、みえ高文祭や北勢展など、今後控えている展覧会に向けて、各自制作に頑張っている毎日です。

放送映画部

今年度は、3年生1名、1年生4名で活動しています。主な活動内容は、体育祭(6月)での実況放送や文化祭での作品展示、中学生学校見学会(11月)で上映する南高紹介映像の作成などです。パソコンを使って静止画や動画を編集するなど、いろいろな技術を学びながら取り組んでいます。

野球部

現在部員は、1年生21名、2年生18名、3年生23名、計62名です。文武両道の南高精神に則り、勉強と部活動の両立を基本とし、限られた時間の中で質の高い練習を心がけています。夏の大会では、全員一丸となり、頂点を狙いたいと思えます。

「一球入魂、全力プレーを誓います 野球部一同」

ご注意ください!

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多くの同窓会員に郵送されており、往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス（内、数理コース2クラス）の合計316名でした。進学者数は286名（内男子113名）で、全体の90.5%が進学しました。残りは就職3名、浪人（未定者含む）27名です。数理コースは卒業生の64.1%が国公立大学に、29.5%が私立大学に進学しています。学年全体の国公立大進学者の40.0%が数理コースで占められています。

国公立大学の延べ受験者数は302名、合格者数は132名、入学者数は125名です。合格率は43.7%（入学率は94.7%）で、国公立4年制大学の現役生と過年度生の合計合格者数は143名でした。

今年度卒業生の主な国立大学合格校は、難関大では京都大（1）、名古屋大（6）、神戸大（3）、広島大（2）となっています。ついで、筑波大（1）、金沢大（1）、名古屋工業大（5）、愛知教育大（5）、三重大（28）、信州大（7）、静岡大（6）、岐阜大（2）などとなっています。また、主な公立大学合格校は、首都大東京（1）、横浜市立大（1）、名古屋市立大（5）、愛知県立大（3）、三重県立看護大（7）、大阪市立大（2）などとなっています。

学部別の特徴では、工学部系統の合格者比率が39.4%（昨年28.9%）と最も多く、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。次いで、昨年と同様、教育学部系統の11.4%（昨年17.2%）がこれに続きます。全国的に志願者が減少している教育学部系統で志願者が多いのも、本校の大きな特徴といえます。さらに、文学部系統の9.8%となっており、全国的に語学・国際系統の人気回復が見られた今春入試で、本校でも同様の動きが見られました。さらに、看護学部系統（昨年5.5%）と経済・商学部系統（昨年13.3%）が83%で並びます。中でも、看護学部系統は本校でも人気の系統で、昨年を上回る合格者比率となっています。全国的に人気回復傾向が見られた法学部系統は38%（昨年0.8%）となり、一昨年並みの合格者比率となっています。

国公立大学では、工学部が多く開講されていることや、文系系統においても教育、就職環境に優れるため、多くの生徒が全国的な視野を持って受験校選択をおこなっています。今年度は新教育課程最初の入試となり、理科の負担増を感じた生徒も少なくなく、国公立

志願者数は減少しました。そうした中、全国的な視野を持ち、前期日程から幅広く志望校を考え、中期日程において2次学力を考慮しながらの慎重な出願を行いました。卒業式を終えた後も小論文指導や面接指導などの2次対策に登校し、最後まであきらめず、中期日程まで粘り強く受験することで合格を得られた生徒も多かったです。

私立四年制大学の延べ受験校数は1870校、重複を除く受験者数は286名でした。平均併願校数は6.54校（昨年6.04校）と増加し、一人あたりの受験校数は年々増加しています。受験者動向については、センター利用前期と後期でそれぞれ受験者数が減少しましたが、一般入試前期日程の受験者数が延べ1061人（昨年延べ889人）と大幅に増加しました。この一般入試前期日程にはセンター併用型も含まれており、センター試験を利用した受験者数は年々増加傾向にあります。こうした前期日程での志願者数・平均併願校数の増加は、各大学の受験方式や学内併願の多様化、受験料の割引、減額制度の拡大なども影響しているものと思われまます。

また、全国的な語学・国際系学部の人気傾向は本校においても同様で、昨年の20.6%を大きく上回りました。また、文学部系統の中には教育学科も含まれており、本校の特徴である教育学部系人気も影響しているものと思われまます。工学部系統が昨年の25.4%を下回った背景には、国公立大学における合格者比率が昨年より約1割増加していることも影響していると思われまます。ついで、経済・商学部系統（12.7%）、社会学系統（8.8%）と人文系学部が続き、「文低理高」といわれた理系学部人気に歯止めがかかった印象です。新課程入試による「理科」の負担増や、景気回復の兆しがみられることも背景にあるものと思われまます。国公立大学の傾向と数字的な違いはありますが、学部・学科の多様化で系統分類が煩雑になっているため、校内での志望動向に大きな差はありません。

工学部系の大学別志願者数を見ると、名城大の136人（昨年158人）が最も多く、人気は安定しています。ついで立命館大の47人（昨年38人）、さらに中部大36人（昨年51人）、愛知工業大35人（昨年60人）、中京大35人（昨年70人）の順となっています。キャンパス移転により志願者増も考えられた南山大は17人（昨年23人）と思うほど

には伸びませんでした。また、今年志願者数を増やした文学部系大学別志願者数を見ると、中京大29人（昨年37人）が最も多く、ついで南山大（昨年53人）と名古屋外国語大（昨年26人）が24人と並び、さらに愛知淑徳大20人（昨年46人）、愛知大15人（昨年27人）がこれに続きます。工学部系大学に比べ文学部系大学の1校当たりの志願者数が少ないのは、中部圏の大学が人文系学部を数多く開講しているためで、選択肢の幅が広いことが数字に表れているものと思われまます。

大学別の受験者数をみると、中部圏では中京大257人（昨年182人）、名城大212人（昨年255人）の受験者数が多く、昨年受験者数を減らした中京大は大幅に増加し、一昨年の208人をも上回りました。次いで南山大171人（昨年149人）、愛知淑徳大152人（昨年82人）、中部大100人（昨年123人）と続きます。愛知淑徳大は大幅な増加、南山大は年々増加傾向にあります。関西圏では立命館大99人（昨年104人）、同志社大37人（昨年42人）、関西大26人（昨年31人）が受験者数上位校です。

（進路指導部 稲垣良二）

2015年度入試 大学等合格者数 (過年度生含む)

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格
北見工業	1	島根	1	青山学院	2	福井工業	1	名古屋文理	2	武庫川女子	1
北海道教育	1	広島	3	北里	1	常葉	2	南山	67	畿央	1
室蘭工業	1	徳島	3	慶應義塾	1	岐阜聖徳学園	3	日本福祉	9	岡山理科	4
岩手	1	佐賀	1	國學院	1	中部学院	1	藤田保健衛生	12	日本文理	1
茨城	1	国立大学計	104	芝浦工業	3	東海学院	3	名城	92	私立大学計	902
筑波	2	高崎経済	1	順天堂	1	愛知	31	皇學館	31	修文大短大部	1
宇都宮	1	首都大学東京	1	創価	1	愛知医科	1	鈴鹿医療科学	27	名古屋短大	5
群馬	1	横浜市立	1	上智	1	愛知学院	22	四日市看護医療	21	名古屋女子短大部	3
埼玉	1	富山県立	2	多摩美術	1	愛知工業	30	京都産業	2	名古屋文理大短大部	1
富山	7	石川県立	2	中央	5	愛知淑徳	72	京都女子	1	高田短大	1
金沢	1	金沢美術工芸	2	帝京科学	1	愛知東邦	1	京都橘	2	三重短大	3
福井	6	福井県立	3	東海	2	桜花学園	3	京都ノートルダム女子	1	短期大学計	14
山梨	2	山梨県立	1	東京家政	1	金城学院	30	同志社	16	山野美容専門学校	1
信州	7	静岡文化芸術	1	東京理科	2	修文	3	同志社女子	3	中野校 中野校 中野校	1
岐阜	2	愛知県立	4	日本	1	福山女学園	32	佛教	1	名古屋スクールオブミュージック	1
静岡	6	名古屋市立	5	日本獣生命科学	1	大同	28	龍谷	2	名古屋ユニテック歯科製菓	1
愛知教育	5	三重県立看護	7	文化学園	2	中京	113	立命館	36	日本マンガ芸術学院	1
名古屋	7	滋賀県立	2	武蔵野美術	1	中部	54	大阪医科	1	名古屋スクールオブビジネス	1
名古屋工業	5	大阪市立	2	明治	4	東海学園	10	大阪国際	2	名経 ビューティーアート専門学校 美術	1
三重	29	高知工科	1	明治学院	2	同朋	2	大阪体育	1	国際製菓技術専門学校	1
滋賀	2	鳥取環境	1	立教	4	豊田工業	1	関西	9	日本ナレーション演技研究所	2
京都	1	岡山県立	1	早稲田	4	名古屋外国語	29	近畿	8	名古屋ファッション専門学校	1
大阪	1	尾道市立	1	麻布	1	名古屋学院	8	摂南	1	専門学校計	11
神戸	3	名桜	1	神奈川	2	名古屋学芸	4	関西看護医療	1	水産大学校	1
兵庫教育	1	公立大学計	39	関東学院	1	名古屋経済	1	関西福祉	2	大学校計	1
奈良女子	1	千葉工業	1	金沢工業	7	名古屋女子	23	関西学院	4		

Communication
先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

小川裕之 先生

南高校を転勤されて何年ですか？

5年になります。南高校には平成12年から23年まで11年間お世話になりました。

現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。

四日市四郷高校に転勤してずっと進路指導部です。クラブは、最初の4年間は、なんと女子ハンドボール部顧問に！最初は戸惑いでしたが、生徒たちの一生懸命にやっていた姿に感動してのめり込み、主顧問の先生のご指導や生徒の頑張り、長年顧問をしていた陸上競技では一度も行ったことのない全国大会を6回も経験し、大変いい勉強をさせて頂きました。今年5年ぶりに陸上競技部の顧問(長距離ブロック担当)に戻り、昔の感覚を思い出してきたところ

です。

分掌では、進路指導部で、進学・就職指導にいつも追われております。南高校ではほぼ進学指導ばかりだったので、最初の頃は就職指導で苦労しました。企業訪問や就職面接指導、企業担当者との懇談

など今までにない「会社の営業マン」のような経験もし、名刺も1年間で300枚もなくなりました…

四日市四郷高校の生徒は大学短大、専門学校、就職と多方面へまんべんなく進路選択しその進路指導がたいへんです。学力の個人差も大きいので、生徒一人ひとりにあつたキャリアデザインを描かせるのが大きな課題で、日々苦労しております。

南高校時代の印象に残っていることは何ですか？

6年間担任をさせて頂いた、2年間生徒会の顧問もやりました。南高校は生徒会行事が盛んで、体育祭、文化祭、クラスマッチ、そして生徒大会と生徒の皆さんが一生懸命に取り組み、生徒会顧問はたいへんやりがいがありました。体育祭では応援合戦に取り組み生徒諸君のパワーに圧倒されたり、騎馬戦や、棒取りでのアクシデントにヒヤヒヤしたこともあり

りました。南高校最後の年は50期生の3-8を担任し、南高祭では四日市文化会館でオリジナル脚本のステージ発表をしました。踊りあり、太鼓発表ありの楽しい舞台

でした。そこで篠笛を舞台でそっと吹いたのも思い出の一つです。離任式の際、最後に音楽部の生徒諸君が「仰げば尊し」を歌ってくれたことは感激の極みでした。

南高校及び南高生、同窓会生にご助言、メッセージをお願いします。

「誇りを胸に」という校歌にも登場する言葉が今も頭に思い浮かびます。人生のどの場面でも使えるフレーズだと思います。決して広い、きれいな学校とはいえませんが、登城ヶ丘の上に建つ自由闊達な雰囲気のある学校で学び、育んだ青春の思い出は決して忘れることはないと思います。今一度、自ら「誇り」を糧に一步一步前に進んで行って欲しいと思います。

「南高」で学んだ方々とこれからまたどこかでお会いし、仕事をしたり遊んだりして、「絆」を深め、それぞれの人生を楽しくかつ有意義に過ごしていければいいなあと

思っております。皆様方のこれからの益々のご活躍を祈念いたしております。



平成27年度 総会及び懇親会



【日時】平成27年8月8日(土)

【会場】四日市都ホテル 3F 朝明の間

■午後2時より理事会

■午後3時より総会・懇親会

■会費 社会人2,000円、学生無料

■今年度の総会は24期生が幹事を務めます。お世話になった恩師、佐藤誠也先生、名村(生田)素子先生、田中貞美先生、花井由文先生、浅尾正男先生にご列席いただき、当時の思い出やエピソードをご披露いただく予定です。高校時代に思いを巡らせ、ともに語り合えればと思います。- 懐かしいあの顔、この顔 - 皆様お誘い合わせの上、ご出席下さいます様お願い申し上げます。

【第24期生同窓会】

日時：8月8日(土) 18:30～20:30

会場：たまゆら南店(農協会館内) TEL.059-351-1745

第7回 四日市南高校東京同窓会

【日時】平成27年10月10日(土)

【会場】三重テラス 1F レストラン

東京都中央区日本橋室町2-4-1
浮世小路千疋屋ビル YUITO ANNEX 1F

■16時30分受付

■17時～20時

■会費6,000円(学割3,000円)

【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより、第7回四日市南高校東京同窓会の参加申し込みフォーマットよりお申し込みください。

【問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期 山路みのるまでお願いします。
TEL.090-3255-2644

同窓会役員

会長	粕谷邦男	(2期)
副会長	田中正	(2期)
	山路 熟	(14期)
	鈴木正司	(17期)
書記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会計	小柳秀樹	(20期)
監事	浦田 治	(19期)
	石原正敬	(29期)
	矢田 智	(5期)
	川島茂樹	(7期)
	川村公博	(25期)

【学校側】		
顧問	鈴木達哉	学校長
理事	伊藤明日奈	教諭
	稲垣良二	〃
	川崎千佳子	〃
	西 綾	〃
	服部圭一	〃
	廣田育男	〃
	藤波 厚	〃
	村野玉紀	〃

【連絡先】
〒510-8562 四日市市大字日永岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549
http://www.4nan.jp/dousou/ E-mail ds@4nan.jp

第3回 四日市南高校同窓会ゴルフ大会のご案内

【日時】平成27年11月11日(水)

【場所】四日市カントリークラブ(予定) 四日市市山城町640

※詳細は同窓会HPに掲載します。

【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより第3回ゴルフ大会の申し込み用紙(PDF)をプリントアウトし、FAX(059-359-3021)でお申し込みください。
同学年3名そろえば、学年対抗戦にも参加できます。

【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会理事14期 山路みのるまでお願いします。
TEL.090-3255-2644



事務	数学	英語	情報	美術	保健	理科	数学	国語	校長	【転入】	事務	情報	美術	保健	理科	数学	国語	校長	【退職】		
西川信雄	梅谷高正	坊野健大	山川達也	青木里美	藤田貴士	山下浩司	近藤治樹	杉戸大樹	勝 徹	伊藤明日奈	掛山 香	柴原清成	廣田光司	田根 論	小林祐樹	川尻裕大	野村綾子	杉本久直	片岡義剛	田中真司	
四日市工業高校							四日市農芸高校	神戶高校	四日市四郷高校	西日野にじ学園	鈴鹿県税務所税務室	津工業高校	桑名西高校	名張高校	茨城県へ	桑名北高校	菟野高校	石薬師高校	白子高校		
								県教委人権教育課													

教職員異動

平成二十七年(敬称略)